

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|------------------|---------------|
| ○事業所名 | 発達センターちよだ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ 2024年12月18日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 23 (うち兄弟児を含むと25) | (回答者数) 22 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ 2024年12月18日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | (うちデイサービスちよだ含む) | (回答者数) |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 生活年齢のクラス編成で最大9人の子どもたち集団が、毎日同じ友達、同じ担任の先生で過ごす中で、子どもたちが安心して生活して、あそび、発達していける。 | 担任だけでなく、複数の職員が関わることで、子ども理解を広げている。また、職員会議を通して、様々なケース検討を行っている。 | 実践記録を丁寧に作りながら、外部に発信したり、交流する機会を設けて、よりよい療育ができるように研修や学習する機会を設けていく。 |
| 2 | 広い園庭で子どもたちが思う存分あそぶことができる。 | 園庭での取り組みが固定化されないようにしている。また、遊戯室や各クラスでのあそびの充実を図っている。 | 園庭でのあそびや、地域での遊びが充実していくために、保育者が実際にあそび、体験できるプログラムを考えていく。 |
| 3 | 保護者と密に懇談をしたり、実際に子どもへの関わりやあそびを楽しむことで、我が子理解を広げていく。 | 保護者支援プログラムの実施や保護者会の組織、研修をしていく中で、縦と横の関係づくりをしている。 | 外部の講師もお招きし、最新を情報や正しい情勢を学習し、保護者の方へ提供していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 地域交流、園庭開放の機会を広げていく。気軽に相談したり、あそびに来れる施設づくり | 地域交流や園庭開放でも、堤防が近く、園庭であそんでいる子どもたちに声をかけてくれる方は多いけれども、どのような施設かが分かりにくいので、地域開放と園庭開放を行いながら、地域に根差した施設づくりを行っていきたい。 | 新しい療育センターづくりも含めて、毎月の土曜日において、園庭開放を行い、誰でも相談しやすい施設づくりをしていきたい。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達センターちよだ

公表日 2025年3月17日

利用児童数 25名 2025年3月17日

回収数 22

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|--|----|-----------|-----|--|--|--|
| | | | はい | いいえ | | | |
| 環境・体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 14 | 5 | 2 | 1 | 広さはどうしようもないですが、やはり狭く感じます。 | クラスの部屋を広げる工事を昨年度から継続的に実施しています。2025年度に |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 12 | 5 | 4 | 1 | 適切にも見えますが増員してもいいのではと思う時もあります。職員の体調や長期でお休みしている方などいる状態で補助職員や違う療育センターさんから応援職員さんが来て下さっている時期がありました。そのような自体になる前に補助職員などの増員を増やしてもらえると保育する先生方の不安や預ける保護者の不安も減ると思います。ST OTを個別で受けたい 週に一度くらいのペースで受けられるようにしてほしい(40分くらい) 受けられないためわざわざ別の場所に通っている。OTやSTの個別でリハビリを受けたい 週一回40分くらい。しっかりと見ていただいて安心してはいますが、時々、朝の見送りの時にバスの時間と重なると分離する時に先生がいなくて戸惑ってしまう時があります。看護師さんがいてくれて安心できます。配置数は守られているが、日によってクラスに入る職員がかわるため子どもたちも混乱してしまうのではないかと思います。 | 今年度は職員の急な退職では、大変ご迷惑をおかけしました。国基準の職員体制は厳守して+aの職員配置をしている点にはご理解ください。 |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 12 | 4 | 3 | 3 | わかりやすい構造ですがバリアフリーとは言いがたいです。建物自体が古いためバリアフリー化は全く進んでいません。建物が古いためまだまだ子どもたちにとって配慮が足りない部分があると感じます。 | 2024年度の夏に保育室の大規模修繕を行いました。また、2025年度春に新たに園内に園舎の建設を行い、保育室を新たに設置します。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 10 | 7 | 3 | 2 | 先生方はいつもごまめに掃除をしてくださっていますが、老朽化が原因で心地よくは難しい。手洗い場が低くて手を自分でスムーズに洗いやすいです。築年数から考えては先生たちの配慮で清潔にしてくださっている。ありがとうございます。しかし、先生方、大人が使用するトイレ、洗面は清潔で心地良いとは離れていると思います。子ども用トイレの便器が濡れたままだったりする。自分のマークで荷物の場所を理解したり、子どもがのびのびと生活できる空間になっていると思います。 | 2025年度の工事において、新たに幼児用便座を設置する計画があります。子どもたちが過ごしやすい環境づくりを引き続きクラスごとで検討しながら、作り上げていきます。幼児用便座の近くに、いつでも誰でも使えるタオルや汚れもの用のタオルを用意します。 |
| 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 17 | 3 | 2 | | 療育はとてもよいおもうが、その他OTやSTなどのリハビリは不十分だとおもう。療育はよいとおもうがOTやSTなどのリハビリが個別でうけられるとよい。言葉が出ていない子が多いのでSTの先生を交えて支援してもらえると嬉しいです。すぐに園庭に出られたり自分でのびのびとできる環境です。個別支援計画が十分に理解した内容になって職員配置においてはマイナス面でしたが、クラス担任以外の職員さん子ども一人一人に対してとても理解をして接してくれていると思います。 | 当施設では、PT,ST,OT等の個別訓練は実施できません。改めて保護者の方には周知していきたいと考えています。東部地域療育センターぼけつとの訓練士には、月1回定期的に訪問して、保育についてケース検討を行っています。利用児の理解を広げています。 | |
| 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 19 | 1 | | 2 | 普段の生活から行事ごとまで、先生たちの工夫や努力にととても感謝しています。家や園での様子から、どうしたら子どもが過ごしやすいか、もっと成長できるかを一緒に考えてもらえてとても助かっています。 | 2024年度より、支援プログラムを公表します。また、各クラスのクラス懇談会においても説明を行っています。 | |
| 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 21 | | 1 | | 家や園での様子から、どうしたら子どもが過ごしやすいか、もっと成長できるかを一緒に考えてもらえてとても助かっています。 | 個別支援計画の作成を引き続き、多職種や多くの職員が関わっていく中で、作成していきます。 | |

| | | | | | | | | |
|----------|---------------------------------|---|----|---|---|--|---|---|
| 適切な支援の提供 | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 15 | 2 | 5 | | 職員も児童発達支援ガイドラインの学習を図っていきます。 | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 21 | | 1 | 食事の面でたくさん試行錯誤してもらっています。それぞれの子どもの段階にあった支援をしてもらっていると感じます。 | 引き続き作成していきます。 | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 22 | | | いろいろな活動が行えるようにと先生は毎日工夫して取り組んでくれてます。いろんなものを作ってくれたり、最近では教室1つを4ブースに分けて、ママゴトや描画などのブースを作り子供たち一人一人が好きなものをやらせてくれる活動をしてくれてます。毎日様々なとりくみをしてもらっています。この前はクラスで、描画をする子と描画が苦手な子とスペースを分けて対応してもらいました。先生たちの様々なアイデアや工夫で子どもたちとても楽しく活動できていると思います。 | 全職員での会議も実施していきながら、固定化されないように、季節の行事も実施しながら、活動プログラムを作成しています。 | |
| 保護者への説明等 | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 9 | 5 | 4 | 4 | 今年度より外部交流で保育園に行く機会をつくって頂きとても良い経験、体験だと思いました。今年から守山保育園へ行く機会を作ってくれました。幼稚園との交流を打ち合わせている、と聞きました。コロナのせいもあり、今年度初めて交流する機会を設けていただきありがとうございます。感謝です。今年度初めての機会なので、これからもそのような機会が増えてくれると嬉しいです。 | 今年度より年中児が守山保育園と交流保育を実施しました。また、月1回園庭開放を行い、夏は夏祭り、春は春祭りを実施しました。多くの地域の方が初めて当施設にあそびに来てくれました。 |
| | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 19 | | 1 | 2 | 研修も聞いていただき説明がありました。とても分かりやすく説明していただいていると思います。 | 引き続き実施していきます。 |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 22 | | | | 両親懇談の時に2人分の計画書を用意していただき分かりやすく説明してもらえました。普段の様子も交えてお話してもらえるので、家での支援にも活かすことができるので助かります。 | 引き続き実施していきます。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 17 | 2 | 2 | 1 | 土日の父だけのプログラムは復活させた方がいいと思います。12月は身体に関する研修会で体を動かして運動不足の解消にもなりました。卒業生の保護者の方から直接話を聞く質問できる機会をとってもらっています。障害児の療育に関する専門的な研修の機会を増やして欲しい。家族で参加できる行事をたくさん企画していただけてとても感謝しています。 | 保護者研修プログラムを実施しています。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 19 | 1 | 2 | | 連絡ノートが用意されており、毎日、家での様子を記入する為、気になったことがあればすぐに共有ができ理解してもらえるようになっている。さらに、個人懇談の申込みいつでもできるようにしているので詳細も伝えやすい。連絡帳でやり取りと、送迎の際に様子を伝えてもらいます。いつも気に掛けてくださり、ありがとうございます。連絡帳にとっても細かくその日の様子を書いてもらえるので、とても安心できます。 | 毎月の園だよりに個人懇談申し込み用紙を付けて、随時個人懇談を実施しています。今年度は親子登園日である水曜日に保護者の方と懇談を密に実施してきました。 |
| 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 19 | | | 3 | 毎週水曜日は親子登園なので、先生と顔を合わせ、日々の過ごし方や、できるようになったこと、こうするといいななどのアドバイスをしてもらえます。忙しいとは思いますが、送迎が直接でないため、もう少し先生とお話する機会があれば、ありがたいです。悩みを聞いてもらったり、具体的なアドバイスをいただけていると思います。 | 水曜日を中心に保護者の方と懇談する機会を設けていきます。 | |
| 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 15 | | 3 | 4 | 共感してもらえる時の方が多いですが、行事への参加は頑張っ参加してほしいという感じが先生方の熱量を感じる。子どものことをよく理解してもらえて、一緒に子どもを育ててくれている気持ちになるのでとても感謝しています。 | 引き続き保護者の方と、密に懇談を実施していきます。 | |

| | | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|---|---|--|
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 18 | 1 | 3 | 保護者会は毎月行われ母親同士の交流はしっかりできています。保護者への配慮はありがたいですが、役員などの負担が大きいのではないかと心配です。 | 保護者会の活動に保育者も入りながら一緒に保護者会プログラムを作成していきます。 | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 18 | 2 | 1 | 相談事をすると、すぐにその事について先生同士で共有してもらえて子供にあった解決方法を探してもらえます。臨時で個人懇談をしてもらったり園長先生に時間をとってもらったりします。保護者会などの際にきちんと回答や説明をさせていただいていると思います。 | 引き続き保護者の方と、懇談を実施していきます。 | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 18 | 1 | 2 | 1 | 毎日細かく連絡ノートに記入してもらえます。 | 今後も注意していきます。 | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 19 | | | 3 | おたよりでイベントの様子をみることが出来ます。 | 情報の周知を行っていきます。 | |
| | 22 | 個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 18 | | | 1 | 3 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 16 | | | 3 | 3 | 避難訓練も行われ、感染症が園で出た場合はすぐにお便りを下さり知らせてもらえます。 | 毎月防災訓練等は実施しています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 20 | | | | 2 | 非常食の備蓄もあり、期限が近くなると処分するのではなく園児全員へ配布されるので食品ロスも軽減されています。訓練の際の様子なども教えていただき、万が一の時に備えておけると思います。 | 随時非常食をローリングストック行っています。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 15 | | | 3 | 4 | 建物が古いため扉が鉄で指を挟んだりした時が心配。 | 建物の修繕を随時検討をしていきます。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 19 | 1 | 1 | 1 | 1 | 我が子が怪我をしたことがないのでなんとも言えないですが、怪我をした子のお母さんからすぐ迅速な対応だったと聞いたので対応は申し分ないと思います。息子がすこしケガをしたとき電話がかかってきて整形外科へ連れて行ってもらいました。周りの方の話を聞く限り、適切な対応をいただけていると思いました。 | 病院受診のマニュアルを作成し、怪我等がある場合は、今後も医療受診を行っていきます。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 21 | | | | 1 | 先生への信頼感は深まり、いつも迎えに行くところをニコニコで遊んでる姿を確認できるので安心できる場所なんだと思います。笑顔で通っています。自分の居場所になって、毎日楽しく通っています。不安そうな時もありますが、先生やお友だちに少しずつ慣れていけるとおもいます。 | 利用されるすべての方が安心して生活できる環境、プログラム、職員育成を図っていきます。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 21 | | | | 1 | 分離は泣けてしましますが、活動はすごく楽しんでます。分離は泣けてしましますが、活動はすごく楽しんでます。日によって行きたくない日もありますが、毎日とても楽しく過ごせているようです。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 19 | | | | 3 | 普段の療育に不満は特にありませんが、相談支援や困りごとの回答の仕方に関してはずっと不満を感じている。相談支援員の個人的な意見が強く、保護者の困りごとに対して適切な回答をくれない。受給者証の説明を最初にしてほしい。 | どの方も満足できるように、支援していきます。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集

園長 後藤明子
児童発達支援管理責任者 水野裕貴

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 2025年3月27日 | | | | |
|---|---|------------------------------|--|--|--|--------------------------------|
| 発達センターちよだ | | | | | | |
| 環境・体制整備 | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100 | | 棚やおもちゃ棚が室内設置になったこともあり、スペースは適切である | 2024年度末より工事を実施し、新たに保育室を建設している。 |
| 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。 | 93.3 | 6.7 | 職員が増えると余裕を持って保育ができると思う。適当であると思うが、とりくみや子どもの姿から見ると、人員がほしいと感じることはある。 | 市基準以上の職員配置を行っている。 | |
| 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 46.7 | 53.3 | バリアフリー化されていない。内縁がないので連絡が取りづらい。手すりなどはない。構造化は、目で見わかる形にはなっていないが、場所は決めている。部屋の構造上仕方ないですが、保育室のなかの生活空間と遊びコーナーをはっきりさせられるといいなと思いました。また、年齢や発達にあつたおもちゃが保育室にあればいいのとも思っています。トイレの便器の使い分けやそこまでの視覚的誘導もなかなか形になっていなかったように思います。 | 2024年度末より工事を実施し、新たに保育室を建設している。 | |
| 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 92.3 | 7.7 | | 引き続き丁寧な掃除を行っている。 | |
| 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 78.6 | 21.4 | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 100 | | パートさんと組んでいるが、その点については曖昧な部分が多いように思う。 | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100 | | 日々の中でも話す機会を大切に、意見を受け付けている。評価を実施した後に意見をみんなで共有している。職員会議で、評価と業務改善を全員で確認している。 | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100 | | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 84.6 | 15.4 | | 2024年度より第3者評価を受けている。 | |
| 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100 | | 必要に応じて研修への参加が促される年に何回か研修に出してもらっている。法人内での研修やちよだ独自の研修もやっている。外部の講師を呼んで研修を行ったり、子どものケース検討を通して子ども理解を深めたりして、職員の質を高められるようにしている | 引き続き、その年の保護者や子どもの状況に合わせて、保育技術の向上を図る研修を実施していきます。 | | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100 | | アセスメントの時間を設け、現在の姿を確認しながら行っている。 | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 100 | | 意識して書いているつもりだが、書き方についての学習は必要だと感じている。 | | |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100 | | 適宜計画を見ながら支援をしている他クラスの共有機会があるという | | |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100 | | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 64.3 | 35.7 | | 標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、共通の発達票を使ってケース検討を実施している。 | |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100 | | | ガイドラインに沿った支援を行っているが、職員の中には児童発達支援ガイドラインに目を通していない職員がいる、今後は年間通しての学習を検討していきたい。 | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100 | | 日々一緒に組んでいる職員にまず自分の意見を伝えつつ、意見や案を求めて考えている。月に一度にクラス担任で会議を行ったり、全体の職員会議に於いても全体で確認する場を作っている。 | 今年度よりコロナ禍以前の行事の復活させたり、新たに始めた行事を作り、活動内容も、季節や文化を意識して、引き続き作ってきたい。 | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100 | | その時の季節や伝統を伝えられる行事、あそびづくり会議などで話し合いながら工夫している。 | 引き続きちよだに通う家族のニーズと私たち職員が経験させたいことを明らかにしつつ、様々なプログラムを立案していきます。 | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 100 | | 個別のねらい、集団としてのねらいの視点を持って作成している。 | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 93.3 | 6.7 | 毎回子どもたちが来る前には職員が集まり、話す時間を作り、確認している。 | 基本的には支援開始前に打ち合わせ時間が確保されているが、送迎等で全職員がそろっているわけではない。支援終了後の振り返り時間も有効に活用し打ち合わせを行っている。 | |
| 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100 | | 毎回ケースを行っているが、時間は足りないときはある。全員が揃わない日や、ケースとして時間を作れない時もある。 | 様々な業務も重なっているが、全員が集まらなくても、職員間の連絡ノートも作成しながら実施していきます。 | | |
| 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 93.3 | 6.7 | 毎日日誌を書いて、要点は書き留めている。 | | | |
| 23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 93.3 | 6.7 | 支援計画を作成する中でも、担当する以外の職員とも確認するようにしているが、不十分な時もある。 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 92.9 | 7.1 | | | |
| | 25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 86.7 | 13.3 | 学齢期の子どもたちに対しては不十分だと感じている。 | | |
| | 26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100 | | | | |
| | 27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (28～30は、センターのみ回答) | 92.3 | 7.7 | 来年度新しい集団へ移っていく子達に対しては、引き継ぎ表等の作成を行う予定である。 | | |
| | 28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 100 | | | | |
| | 29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 100 | | いろいろな施設の職員と一緒に研修を受ける機会がある | | |
| | 30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 (31は、事業所のみ回答) | 100 | | | | |
| | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。 | | | | | |
| | 32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 92.3 | 7.7 | 交流保育をしている | 今年度より、年中児は守山保育園との交流保育を行った。 | |
| | 33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100 | | 保護者と週1度あって話している デイの随時時には今日の姿も含めて、話をするようにしている。 | | |

